

広島子どもの心支援ネットワーク第69回研修会報告

➤ 期日：2022年7月2日（土）13：30～17：30

➤ 場所：対面・オンラインハイブリッド開催

➤ 対面会場：ビッグフロント広島5階

➤ オンライン：Zoom

➤ テーマ「【積み上げる】UDL！」

➤ 講師

バーンズ亀山静子先生（NY州スクールサイコロジスト／同志社大学こころの科学研究センター研究員）

川俣智路先生（北海道教育大学教育学研究科（教職大学院）准教授）

➤ 内容：

13：30～13：50 開会・講師紹介

13：50～14：20 ワークショップ1「UDLってなんだろう」

14：30～15：00 ワークショップ2「UDLでのテクノロジー活用とは？」

15：20～16：40 ワークショップ3「実践事例をもとに考えよう」

実践発表：友田真先生（広島市立小学校教諭・広島大学教職大学院2年）

16：50～17：30 実践計画を考える・Q&A

☆ ワークショップ1：「UDLってなんだろう」

下記の4つの課題について、UDLの概念に基づいてどのように授業改善ができるかをグループごとにディスカッションを行った。4つの課題のうちのどれを選択するかは個人に任されていたり、Padletを活用して意見の共有がスムーズに行われたりと、研修参加者が自然とUDLの概念に基づいた学びの場を引き込まれ、体験的にUDLを学ぶことができていた。

事例

以下のA先生の事例から、各グループで1つのケースを選び、UDLの視点で課題と改善策を見出すワークをおこないます。グループで出たアイデアはPadlet上にアップロードをお願いします。

「学力差がある。モチベーションが上がらない。学習に対して受け身。指示に対してやらない児童・生徒もいる。」という課題に対してUDLの視点で行った以下の改善策の不十分なところについてディスカッションを行う。

A1 教室の壁面等を整理して刺激を減らし、視覚的な支援を行った。

A2 ワークシートに書かない、書くのが遅い児童・生徒に対してChromebookを導入した。

A3 グループでの作業をし、協働関係を育もうとした。

A4 学力差に応じて練習問題の難易度に差を設けた。

☆ ワークショップ2：「UDLでのテクノロジー活用とは？」

時間の都合上、当日には行わず後日動画によって配信されました

☆ ワークショップ3：「実践事例をもとに考えよう」

今年度より UDL の実践を始められた友田先生による授業実践の紹介が行われました。研修参加者は、友田先生の実践から以下のことを考えディスカッションを行いました。

- ✓ UDL を意識して前もって工夫されていること
- ✓ こうするとさらに子ども達が学びやすくなるのではというアイデア

参加者からの意見や質問に対して、友田先生が応えたり、バーンズ先生や川俣先生がコメントをしたりしました。具体的な実践事例をもとに検討することで、UDL という概念フレームワークをいかに実践に落とし込めばいいかが、大変わかりやすく理解できるワークショップでした。

☆ 実践計画を考える・Q&A

それぞれのワークショップで非常に活発なディスカッションが行われ、実践計画については参加者各自に任されることとなりました。今回の研修に参加した先生達の学校で、全ての子どもが学びにアクセスし、自らの学びの舵取りを行うことができる「学びのエキスパート」を育てる実践が展開されていくことが期待されます。